



# 京北革新懇

機関紙 第2号 発行：2018年11月21日

【代表】 西山 恒夫 075-853-0903  
【発行責任者】 大野 一美

## 沖縄知事選勝利報告会 & 新入会者歓迎会

10月27日（土）沖縄知事選挙勝利報告会&新入会者歓迎会を、会員の娘さんがプロデュースされている芦見谷芸術の森で行いました。

初めに、10月3日に逝去された同志Sさんのご冥福を祈り黙とうを行いました。Sさんは京北革新懇の立上げ準備の段階で、自ら加入を申し込まれ、積極的に関わっていただき頑張っておられましたが、病のため急逝されました。もっともっと平和を求めて活動して頂きたかったのにと惜しまれます。

沖縄知事選の応援に行かれたOさんとFさんからは、皆さんの願いや思いを託した『檄』やカンパを渡してとても感謝されたことや、猛暑の中、現地でのピラ配りやスタンディングなどの応援活動の奮戦模様を報告してもらい、再度勝利を喜び合いました。

そして、「沖縄の問題は私達の民主主義の問題、京北を民主主義の生きる街に」と新たに確認しました。

また、この選挙戦の中で、新しく仲間に加わってくださった5名の内、今回参加して

いただいた3名の方からは、力強い入会の決意を述べて頂きました。

芦見谷の自然の中でのバーベキューは最高でした。食も会話も進む中、参加者一同、交流の時間を大いに楽しみました。

なお、この催しは全国革新懇からも取材に来られました。記事は新年合併号に掲載されます。



## 「3000万人署名」について



「安倍9条改憲NO!」の署名を3000万人集めようという運動が始まり、現在全国で1800万人を超える人々から署名が集められています。

しかし安倍首相は自分の任期中に改憲を強行する決意を示し、この秋の臨時国会に自民党改憲案を提起すると宣言しました。国民が望んでいない、国民の多数が反対している改憲議論を強引に押し進めることは絶対にやってはならないことです。

ここ京北でも。新日本婦人の会、全日本年金者組合、日本共産党をはじめ多くの団体や個人が3000万人署名に取り組んできましたが、まだ目標を達成するところまでには至っていません。

今、この安倍改憲の動きを阻止するために、それぞれの団体、個人が従来の取り組みの枠を超え、京北住民全員に声をかける規模の取り組みが求められています。

一人一人が草の根で署名を集め、京北革新懇においても3000万人署名の取り組みをさらに強めましょう。

**京北の平和・人権・  
民主主義が尊重される  
地域 めざして!**

### 全国革新懇の3つの共同目標

- ① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします
- ② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本を目指します
- ③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本を目指します



## 消費税増税反対の闘い

安倍首相は来年10月の消費税10%への引き上げを、予定通り実施することを閣議で表明しました。

大企業・金持ち優遇税制を温存したままの大衆増税は、格差と貧困を一層拡大し、経済全体に破局的影響をもたらすことは必至です。

首相は同時に、増税による景気悪化対策を閣僚に指示しました。小売店での商品購入時、キャッシュレス決済を使った消費者に対し、購入額の2%をポイントで還元する仕組み。ポイント還元の会社負担分を国が補助し、店舗に備え付ける端末も配布するなど、関連費用は数千億円規模になる見込みです。

多く買物をする高所得者が、より恩恵を受け、高齢者など「キャッシュレス」に対応できない層は、まったく恩恵を受けられません。

増税と同時に「複数税率」が導入されようとしています。同じものを店舗で食べれば10%で、持ち帰りなら8%など混乱は必至です。

菅官房長官は、リーマンショック級の経済悪化がおこれば増税は試合としていた従来の方針について「まったく変わっていない」「状況をみながら判断されるだろう」と述べています。増税阻止は、今後の私たちの闘いが大きく影響してくると思います。